

「だれでもトイレ」について

■ だれでもトイレとは・・・

「だれでもトイレ」とは、スペースが広く、手すりやオストメイトに対応した設備などを有する多機能トイレで、車いす利用者、高齢者、妊娠中の女性、子ども連れの方のほか、性的少数者や荷物をたくさん持っている方など様々な方の利用が可能な男女共用トイレのことをいう。

■ 設置の目的

自認する性と身体の性に違和感のある人の中にとっては、男女別のトイレの利用しにくさが困りごとの例としてあげられており、性別に関係なく誰もが利用しやすいトイレとして、多機能・多目的トイレに「だれでもトイレ」と表示する。

※性的少数者の方が利用しやすくするための表示ですが、性的少数者と思われる方に「だれでもトイレ」の利用を促すことは、相手に不快感を与える恐れがあるのでご注意ください。

■ 表示方法

- ① 「だれでもトイレ」の表示
- ② ①とは別に、トイレの機能を表示
- ③ フロア案内板などにも「だれでもトイレ」と表示

① だれでもトイレ表記（例）



② トイレ機能表示（例）



■ これまで問い合わせがあったもの

Q 「だれでもトイレ」に必要な設備は？

A スペースが広く、車いすに対応した多機能トイレで、男女共用であること。ベビーベッド、赤ちゃん用チェア、オストメイト、着替え台などは必須ではありません。

Q 性的少数者には「だれでもトイレ」を案内するべき？

A 本人の意向を尊重するべきで、性的少数者と思われる方に「だれでもトイレ」を案内することは不快感を与える恐れがあります。

Q 「だれでもトイレ」と表示したせいで、多機能トイレが混雑し、車いす利用者等が利用しにくくなるのではないか。

A 多機能トイレの利用集中が問題となる場合は、車いす利用者などに配慮するようにポスター掲示をして対応します。（ポスター別添）